

愛媛県立大洲農業高等学校

～学生パワーによる地元「食財」を活用した新商品開発と地域活性化～
(平成22年度優良活動表彰 全国地産地消推進協議会 会長賞)

代表者: 学校長 柳原 一嗣
所在地: 愛媛県大洲市東大洲
構成員: 3学科(生産科学科、食品化学科、生活化学科)
339名(生徒数)
活動開始年: 平成16年



取組内容

「地域から信頼され、地域の期待に応える教育」を目指し、農業高校という専門性を活かした教科課題に地産地消による商品開発を取り込み、学生たちの創意を十分に活かしつつ、地元生産者や食品業者などとの連携で地産地消活動を実践しています。このような社会的活動を教育課程に取り込んで地域振興につなげることは、今後の実業高校のあり方のモデルとなります。特に、実践内容を生徒自らのプレゼンテーションにより地域内外で発表し、評価されることは教育効果も高く、大洲農高からの発信が大洲市の農産物はもとより大洲市そのもののPRにも貢献しています。

1 教育課程における地元食財（大洲の食材は大洲の財産）を活用した商品開発

食品化学科の科目「総合実習」・「課題研究」の時間で実施しています。

- 1年次: 食品製造の基礎学習、地域実態調査
- 2年次: 新商品の試作、試作品の検証、地元農家との交流
- 3年次: 地元商店との交流、商品化、地元住民との交流、大洲地域のPR、地域活性化活動



「しいたけうどん」うどん打ち交流会

2 地元農家、食品メーカーと地産地消商品の共同開発

- 地元農家、地元食品製造業者（市内製菓業者、パン製造業者、うどん屋など）と共同や協力により商品が実際に開発され、地元商店街や直売所などで販売が進められています。

○主な開発商品

にんじん豆腐、菜の花もち、里いもコロッケ、もち麦パン、もち麦ビスケット、おうどいもコロッケ、ポテマロン、ポテマロング（ポテマロンの保存期間延長商品）、しいたけうどん、大洲だいふく など



うどん製造業者との共同開発

3 農産物直売所「愛たい菜」での商品販売（平成22年4月オープン）

- 大洲市では平成21年より「地産地消モデルタウン」構想を進め、大洲市地産地消推進協議会を発足させました。22年4月には拠点となる農産物直売所「たいき産直市・愛たい菜」を開設しました。
- 同直売所では、大洲農高の常設展示・販売コーナーも設置され、土日限定で生徒による対面販売も実施しています。



たいき産直市「愛たい菜」

4 大洲「食財」レシピ集・お土産袋の作成

- 大洲市地産地消推進協議会の支援を受け、大洲食財を活用したレシピ集の作成に取り組んでいます。
この中では、「食財」レシピ紹介の他、大洲市のPR、地産地消の解説、商品や市内直売所の紹介など、市の地産地消の取り組みのすべてが紹介されています。
- 大洲市の支援を受け、お土産の作成も行っています。
販売時や様々な行事・イベントで活用しています。



PR用お土産袋

<最近の取組>

- 新製品の試作
食品化学科2年生が、新製品の商品化に向けて地元の和菓子店と共同で試作会を行いました。大洲市を流れる一級河川「肱川（ひじかわ）」から得られる食材（のり）を活用した製品です。「先輩方に負けないよう早く商品化したい」と意欲的に取り組みました。
- 大洲産品パッケージデザイン講習会（大洲市主催）への参加
「必ず売れる！消費者が買いたくなる商品デザインとパッケージ」について学習しました。次の製品の商品デザイン作成に大変参考になりました。



新商品に向けた試作会

愛媛県立大洲農業高等学校

- 所在地：愛媛県大洲市東大洲15番地1
- TEL: 0893-24-3101 FAX: 0893-23-5232
- URL: <http://ohzu-ah.esnet.ed.jp/>